

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	音楽A		
英文授業科目名	Music A		
開講年度	2009年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	長岡 英		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
jinbunyoumu@bunka.uec.ac.jp	なし

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>西洋音楽史--絶対音楽の歴史--</p> <p>西洋音楽は私たち日本人の生活の中に溶け込んでいて、テレビ・コマーシャルなどにさまざまなクラシックが使われている。2009年度は「絶対音楽と標題音楽」という、対になる2つの側面から西洋音楽の歴史を概観する。</p> <p>音楽Aでは、絶対音楽の基本レパートリーをたどる。絶対音楽とは、文学や絵画などの音以外の手段を借りずに、音楽独自の原理・法則によって成り立つ器楽作品を指す。</p> <p>音楽の本来の姿は「鳴り響き」である。したがって試験では、授業で取り上げた曲のいくつかを聞いて、作曲家名、題名などを同定したうえでその曲に関して論述する、リスニング問題も出題する。西洋クラシック音楽に関する、大学生としての教養・常識を身につけることが目標である。</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>なし。</p>
---

<p><b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b></p> <p>世界史と音楽の基礎知識があることが望まれる。</p>
---

【教科書等】

教科書：久保田 慶一、ほか「はじめての音楽史」音楽之友社

【授業内容とその進め方】

代表的な作品を時代順に聴き、分析することにより、絶対音楽とは何かを理解し、その歴史的意義を考察する。

予定

- 第1回 音楽史概観
- 第2回 絶対音楽成立前の音楽 1
- 第3回 絶対音楽成立前の音楽 2
- 第4回 絶対音楽成立前の音楽 3
- 第5回 古典派における絶対音楽 1 (交響曲 1)
- 第6回 古典派における絶対音楽 2 (交響曲 2)
- 第7回 古典派における絶対音楽 3 (独奏曲)
- 第8回 ロマン派における絶対音楽 1 (室内楽)
- 第9回 ロマン派における絶対音楽 2 (交響曲 1)
- 第10回 ロマン派における絶対音楽 3 (協奏曲)
- 第11回 ロマン派における絶対音楽 4 (交響曲 2)
- 第12回 ロマン派における絶対音楽 5 (室内楽)
- 第13回 20世紀における絶対音楽 1 (交響曲)
- 第14回 20世紀における絶対音楽 2 (協奏曲)

【授業時間外の学習(予習・復習等)】

時間が限られるため、曲全体を紹介することは不可能である。必要に応じて、図書館にあるCDを聴き、理解を深めること。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

2 / 3 以上出席して学期末試験を受けることが採点の対象となる条件。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないので、講義開始前・終了後に申し出てください。

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【学生へのメッセージ】

この講義の目的は音楽を聴くことではなく、聴き方を学ぶことである。音楽的能力（楽譜を読む能力や楽典などの知識）は問わないが、機能和声の理論やソナタ形式の分析等も扱うので、受け身で音楽を聞き流すのではなく、積極的な学習態度が必要である。

最低限の板書しかしないので、必要に応じてメモをとること。

### 【その他】

なし